

質問4 所属する学会について <複数回答可> (その他)

その他記述	件数
日本薬学会	10
日本農芸化学会	5
日本化学会	3
日本RNA学会、日本神経学会	2
日本蛋白質科学会	2
日本糖質学会	2
RNA, 動物	1
RNA学会、細胞を作る研究会	1
ゲノム微生物学会、タンパク質科学会、日本農芸化学会	1
環境ホルモン学会 日本ペプチド学会	1
極限環境生物学会	1
極限環境生物学会 モデル生物丸ごと一匹学会	1
再生医療学会	1
神経学会、神経病理学会、cell death学会	1
蛋白質科学会	1
蛋白質科学会、ソノケミストリー学会	1
日本DDS学会	1
日本DDS学会 The protein society	1
日本RNA学会	1
日本ウイルス学会	1
日本がん転移学会	1
日本ビタミン学会 日本結晶学会	1
日本寄生虫学会、熱帯医学会、ボルフィリンALA学会	1
日本結晶学会	1
日本血液学会	1
日本口腔外科学会、日本口腔科学会	1
日本再生医療学会	1
日本細菌学会	1
日本蚕糸学会	1
日本耳鼻咽喉科学会	1
日本獣医学会、日本ウイルス学会、日本RNA学会	1
日本植物学会	1
日本植物学会 日本植物形態学会	1
日本神経化学会	1
日本生物物理学会	1
日本蛋白質科学会 臨床ストレス応答学会 日本生物工学会	1
日本動物学会	1
日本内分泌学会	1
日本農芸化学会 等	1
日本農芸化学学会	1
日本繁殖生物学会	1
日本皮膚科学会	1
日本病理学会	1
日本分子イメージング学会	1
日本未病システム学会 日本宇宙生物科学会	1
日本薬学会、日本薬理学会、米国癌学会	1
日本薬理学会	1
農芸科学会、NO学会、酵母遺伝学会	1
薬学会	1
臨床ストレス応答学会、矯正医学会	1

質問5. プログラム集冊子のA5判形態について <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	会場で配布していたPocket Timetable & Mapをプログラム集冊子とともにあらかじめ送付して欲しかった。
※	持ち歩きやすく、かつwebツールとの関連付けが行いやすかった。
※	索引は使いにくかった。
※	今回の形式でも重かったですが、掲載すべき必要最低限の情報なので、仕方ないと思います。
※	紙が薄いため、ページが繰りにくかった。ページが小さいので、著者の索引を探すのに、時間が掛かってしまった。
※	当日ダイジェスト版が配られていたのはよかった。
※	冊子が分厚くなるより薄い方が良いのでA4判サイズが使いやすい。
※	希望者のみ配布が良いと思います。
※	会場で簡易版が配布されたのが良かった。
※	「1T25」のような番号と会場が若干わかりにくいと感じました。携帯用mapは非常に役立ちました。
※	web版がいつかクローズになる以上、発表した履歴を残すため冊子の存続を望みます。
※	企画ごと(シンポジウム、口頭etc)ではなく、日付ごとにまとめていただけると、切り離して持ち歩けるので便利かな、と思いました。
※	形態も問題ないとおもいます。
※	メモページが欲しい
※	WEBシステム・アプリのみで十分対応できたので、冊子版は希望者のみ配布でも良いと思います。
※	一日毎のプログラム集があれば少し荷物が減るから助かります。例えば1日目には、2日目以降のプログラム集は必要ないので軽量化できると思います。
※	A5という大きさはいいが、ポスター発表のアブストラクトも含めばもっと思い思う
※	冊子の大きさ、形式は今回のままでよいと思うが、著者索引のページがアルファベット(英語)表記のため返って使いにくかった。たとえば「大谷」という名前の場合、“Ohtani”なのか“Otani”あるいは“Ootani”なのかによって掲載位置が変わるので非常に検索しにくい。
※	ここにかくのでいいのかわかりませんが… 大筋では満足です。ただ、会場地図をもう少し詳しく書いてほしかったです。
※	late-breakingの人がわからなかったので、別冊子でもいいからあると助かった。
※	プログラム検索の際に、私はホームページかアプリを用いていたため、プログラム冊子集は利用しませんでした。そのため私は必要ないと思います。一方で講演の内容をプログラムに書くことでメモされていた方も多くいらっしゃいました。したがって、可能であれば、希望者のみプログラムを配る形式の方がいいのではないかと思います。
※	薄いほうがいい
※	現地においてあったダイジェスト版を元々いれるか、切り離し版などいれてあれば尚よかった

質問6. ITシステムについて <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	発表者検索から発表者の情報が出てくるのはよいが、そのページからマイスケジュールに登録出来なかったりなど、些細なところで不便が生じた
※	発表に対する「いいね」が面白かったです。
※	アプリが全般的に使いづらすぎて冊子を使ったほうが早かった。
※	発表者、演者検索した演題をマイスケジュールにいれられなかったので使いにくいところもあった。
※	検索機能を強化してほしい
※	アプリの動作が重く、もう少し軽く動作して欲しいと感じる点が複数あった。
※	出演者検索で、直接マイスケジュールに登録できなかったのも、できるようにしてほしい。
※	終了したスケジュールはマイスケジュールから自動的に削除される仕様であれば、次のスケジュールが分かり易く、より使いやすいように思います。
※	マイスケジュールはカレンダー形式で見られたらより良かったです
※	検索キーワードに演題内のキーワードを入れているのに、なぜかヒットしない演題があったので、改善して頂けると幸いです。
※	マイスケジュールのページから発表者のページに飛んだ時も、要旨を見ることが出来るようにしてほしい。
※	・検索結果からマイスケジュールに登録できないので不便だった。・アプリからでも、発表者への注意事項を見ることができると便利だと思った。確認するためにわざわざホームページを開かなければならないので不便だった。
※	カテゴリ、プログラム、日程を組み合わせて表示できるとよかった(いちいち条件を入れて検索するのは大変、プログラム集冊子のようにプログラムでわかれている、その中でさらに日程やカテゴリでページが分かっていると調べやすい)
※	発表者を検索したあと、そこで要旨も見られるようにしてほしい。会場ナビに現在位置を反映させて欲しい。
※	使用しなかった
※	おこなった限りでは、キーワードで検索した後に、日程別・カテゴリ別・プログラム別で同時に絞り込む機能がなかったように思う。メジャーなキーワードだと多くの題目がヒットするため、日時かつ口頭orポスターのような検索ができれば、より使いやすいと思う。
※	スマートフォンが不調でITシステムは利用できなかった。
※	web版は良かったと思います。アプリ側ではスマホでの使用を想定していると思いますが、動作が重い印象でした。表示する項目を減らす、または選ぶことでもっとサクサク動くの良いと思います。
※	アプリのレスポンスが全体的に遅い
※	ランチョンセミナー予約画面でバグがあるようだった。予約自体はできた。
※	要旨登録時の制限が多すぎる。名前の漢字が非対応だと、登録情報から修正しないとイケないなど、設定が悪すぎる。
※	The app was very easy to use and intuitive
※	スケジュールのタイムテーブル画面に戻るたびに左端に戻るのが不便でした。
※	参加者検索が、全ての参加者を網羅しているわけではないので、あまり意味がないかと思った。
※	あまり使ってないです。SNS機能、今年もあったと知りました。
※	同期に時間がかかりすぎる
※	所属検索などをしたときに、いいねが押せなかったり、PDFが見れず使いにくかった。
※	ランチョンセミナーの事前予約で、web上ではまだまだ残席がたくさんある状況でリトライ続けましたが、エラーばかり出てとてもイライラしました。結局1時間以上操作しても予約できなかったのも、予約を諦めました。当日は事前に予約していてもキャンセルが割りとあったようで、キャンセル枠でセミナーに参加できましたが、あれだけキャンセルがあるのなら、前回までの様に、当日午前中のチケット配布でいいと思います。キャンセル枠で入る時も、名刺や所属の記入を言うように言われ、そのせいで会場入場の効率が悪く、セミナーが始まっていたのに、まだ全員入場できていませんでした。
※	アプリのバグが多く、強制終了されることが多々あった
※	携帯アプリの現在発表中の講演では、ページを開くごとに同期が行われ、重く感じました。
※	数十もの演題が並んでいる中で、中間～後半の演題の抄録を一度見て、それから一覧に戻ると先頭の演題に戻されてしまうのがちょっと不便だった。
※	マイスケジュールが時間通りの順に自動で整列したらもっとよかった
※	人物検索から発表要旨を見ることができなかったことが不便だった。
※	口頭、ポスター両方ある演題については検索後一括してスケジュールに入れた方が使い易い。会場ナビは建物と建物内がリンクしていたほうが使い易いと思う。今回のように建物がバラバラだと現在地からまずどの建物のどの場所へ移動するのが探しづらかった。大きな学会では用紙集を持ち歩くのは大変なのでITシステムは必須と感ずる。是非使い勝手を改善していただきたい。

質問7. 会期中に使用された主なITシステムについて（その他）

回答者 番号	記述
	記述なし

質問8. シンポジウムと特別講演について <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	(多くなくてよいので)大学院生、これから研究する学部生向けのセッションがあるとよいと思った
※	細胞骨格系のシンポジウムをもっと増やしてほしい。

質問8. シンポジウムと特別講演について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	プログラム冊子集にCSHAセッションに関する簡単な説明が一切ないのはおかしい。去年参加し、今年は参加できなかったがセッションの意味ぐらい書いた方がよい。去年全く盛り上がらなかったのが原因なら今年こそ盛り上がるよう工夫すべきだったのでは。(今年の様子は知らないのでの外れだったらすみません)
※	テーマと内容が少し違うように感じたシンポジウムがあった

質問9. ワークショップについて（その他）

回答者 番号	その他記述
※	今回、分子生物学会共催という点で非常にためになったワークショップに参加できた。日本生化学会だけでは出会えなかった世界があった。ありがとうございます。
※	聴講者が多くなり満員になって外で聞かざるを得ない講演もあった。見込むことはできないとは思いますが、Pptを映すテレビだけでなく、何かもう少し臨機応変な対策をしていただければ尚よかった。もし会場の箱としての限度があるのだとしても、椅子を並べる、演者へ話す声を大きくするよう座長が促すなど、些細なことでも大きく変わる工夫はできたのではなかったか。
※	おもしろそうな、昆虫やクマムシのWS会場が入りきれなかった。知的好奇心をくすぐるような興味深いテーマの話は、事前にわかりそうな気もするので、会場を広くするなどできればと思う。
※	ワークショップの時間が長い。延長する人が多い。時間内に話をまとめられる人にワークショップ、シンポジウムを依頼してほしい。
※	現在どの演題を発表しているかが途中からでもわかるように表示があるとわかりやすいと思いました。
※	数が多すぎると思う。
※	会場のキャパシティが小さくて、すぐ満席(立ち見含めて)になっていて聴講した講演が聴けなかった。
※	多すぎる
※	一部のセッションで会場の規模が小さく、部屋に入れずに話が聞こえなかったことが残念だった。
※	途中で休憩が欲しかった。
※	当然全部は見切れないので、多いと思うが、多くて悪いことはそんなにない。
※	全体的にあまり面白そうでない。
※	時間が被っていて、会場も離れているので、聞きたくても聞けない公演があった。テーマが大きく異なるものを裏にしたり、裏のワークショップ数を減らして、できるだけ被らないようになると良いと感じた。
※	テーマ・セッション数が多すぎる。セッションの開催場所が広範囲に点在しており、またセッションごとにそれぞれの発表者の発表時間が違うのでセッション間を移動しづらい。
※	ステージ場で議論する方々の立場に偏りが見られた。またほぼ発言しない方もいらっしゃり、社会的な事情が現れていたと思う。
※	立ち見でしか見れないセッションがなかった

質問10. 一般演題について <複数回答可>(その他)

回答者番号	その他記述
※	ポスターの開始時間が遅い
※	もっと多く一般口頭発表の質疑応答の時間が欲しかった。
※	口頭発表の後にポスターとなるようスケジュールを組んで頂きたい。
※	一般口頭発表とポスター発表の時間が離れすぎており、発表者への負担が大きかった。一般口頭発表の部屋が小さすぎ、なかに入れない所があった。会場の振り分けをもう少し考える必要があるように感じた。
※	ポスター多すぎ
※	開催場所が狭かった。
※	ポスターから一般口頭発表が採用されることで、口頭発表をポスターの宣伝のように扱っている発表がいくらか見られた。これは、口頭発表の時間が短いことにも理由があると思う。口頭発表の採用数を減らし、発表時間を延ばしたほうが良いと考えた。
※	今回、口頭発表の機会をいただきましたが、3日目にポスター発表した後、4日目に口頭発表でした。日程上、仕方のないことなのかもしれませんが、個人的には、口頭発表してからポスター発表をした方がより有意義なディスカッションになるのではないかと感じました。(口頭発表を聞いて、興味を持ったり、より詳しい内容を知りたい場合、時間が確保されているポスターの時に実のあるディスカッションができるのでは…)
※	帰宅の電車の関係上、ポスター終了時刻がもう少し早い時間だと嬉しいです。
※	口頭発表やワークショップの終了の時間とポスター発表の開始時間に空きがないため、ポスター発表があると聞きたい口頭発表を最後まで聞くことが難しかった。
※	若手の口頭発表の機会があり、とても良かった。これからも、若手の発表の機会を設けてほしい。
※	すべての演題において、口頭発表とポスター発表を同日にしてほしい。口頭発表の数を減らしてもよいと思う。
※	疾患生物学や発生IVとVなど、同じ時間に同じ分野の発表ができるだけ重ならないようにしてほしい。
※	ポスターの開始時間が少し遅い気がした。ポスター最終日の偶数タームは、ポスターを見に来ている人の人数自体が少なく1日目、2日目に比べて閑散としていたのはどうかと思った。
※	日程上、仕方のないことだが、4日目の口頭発表者のポスターが、3日目にあるのが残念だった。なぜなら、発表で疑問に思ったことを、ポスターで聞きに行くというスタイルをとれないため。
※	口頭発表→ポスター発表の順番に統一したほうが良いと思う。口頭発表は時間が短くデータが最小限となってしまうため、詳しいデータが見たい方はポスターも是非、と言うことができるが、逆(ポスター→口頭)だとそのあたりが難しい
※	2014年にあったポスターディスカッションがなくなったのは残念だった。PIレベルの方とディスカッションできるのは魅力的であったので。負担は大きいと思うが、そこは頑張ってもらっていただけると、非常に得るもの大きいのではないかと思います。また一般口頭発表がワークショップやシンポジウムと丸かぶりしていたのがあまり良くないと感じた。ワークショップ同士やシンポジウム同士でさえ2つ3つと聞きたい講演が被ることが多いので。
※	口頭発表を聞きに行った部屋の多くが、狭すぎて立ち見が多かった。同時に行なうセッションの数が多すぎるのではないかな。また、ポスター会場が分かれすぎているのは不便だった。
※	I wish there were more English speaking lectures
※	ポスター発表時間が同じで話しに行けないものが多数あったので、もう少し発表時間を細分化してほしいです。(発表時間を、ポスター番号を6で割った余りが: 1は16:45-17:15/17:15-17:45 2は16:45-17:15/17:45-18:15 3は16:45-17:15/18:15-18:45 4は17:15-17:45/17:45-18:15 5は17:15-17:45/18:15-18:45 0は17:45-18:15/18:15-18:45 とする、など。)
※	上記7は、複数日程にまたがってしまったため。ポスター・口演の重複はよいと思います。
※	会場が分かれていて迷った
※	ポスターは演題数が多く、奇数番号と偶数番号に分かれていても、演者と話がしたくても時間内に全く間に合わなかった。演者の負担は増えるかもしれないが、どの演題とも2時間示説時間を設けるようにしてほしい。
※	ポスター等の外国人会員にも敷居を低くするため、ポスターや冊子に掲載されるabstractの英語表記を徹底した方がよい。
※	最終日のランチタイムに一般のトークを設定したことは不適切だと感じました。
※	ポスター発表に前後もしくはどちらかに30分程度の自由討論の時間があれば、ポスター発表者が発表を聴きに行くことができると思った。
※	最終日にポスターがなく、見るものが少ない 閑散としていた
※	ワークショップと分野がかぶっていることが多く、興味があるにもかかわらず聞くことができなかった演題が多かった。
※	ポスター発表後に一般口演をしました。逆の方がよかったですと思います。



質問11. BMB2015特別企画について、良かったと思うもの <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	2年前の分生のパクリみたいでとても内容が薄かった(シンポジウム)
※	「ガチ議論」は企画自体は良かったですが、文科省への事前インタビューとほぼ同じ内容で、期待していたほどではありませんでした。研究者側が自分たちの要望を好きに言うだけで、建設的な議論になっていなかったと思います。また、大学は教育機関であるという視点からの議論がなかったのが残念でした。
※	創業シンポジウムは過去の話をしていても知っていることも多く意味がないと考えられる。現在や未来に向けた講演であれば聴きごたえがあると思う。
※	留学のすすめ2015
※	企業研究者の話が聞けて良かった
※	ガチ議論自体は成功したとは思わないが、復活したのはよいことだと思う。
※	参加していない。
※	特別企画を見ていないです。時間が早かったら見たいのはあった。
※	学会主催のランチョンセミナーがよかった。会場側に迷惑をかけるので、21時終了を徹底するか、長引く前提で会場側と打ち合わせしておくべきだと思う。研究倫理フォーラムやガチ議論により多くの研究者を参加させるため、昼間の時間帯に行うなど、スケジュールは再設定してもよいと思った。研究倫理フォーラムでは、STAP問題に関して、研究者コミュニティー外の、〇〇さんや△△さんの話が聞け、非常に有意義な時間だった。
※	一昨年のガチ議論と比較して非常に内容が良かったと思います。一昨年では会話のキャッチボールが行われておらず、演者がそれぞれ自身の考えを述べる不毛な時間でした。今年の会議では、〇〇先生の司会がうまくいったと思います。また文部科学省のお二方が話された内容は正論であり、今回の議論に参加されたことは非常に良いことだと思います。一方で担当されていないテーマの際には、歯切れが悪くなる時もありました。次回もし開催されるのであれば、文科省総出でガチ議論に参加していただき、研究者方や大学側を完膚なきまでに論破していただいた方がいいのではないかと思います。

質問12. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナーについて（その他）

回答者 番号	その他記述
※	セレクトショップみたいな本屋があると良い。特価で売るだけでなく。
※	会場がバラバラなので見て回るのは大変でした。
※	お弁当の数をもう少し増やしてほしい。
※	最終日にもほしかった

質問13. 「製薬・創薬面談ブース」について（その他）

回答者 番号	その他記述
※	どういう目的で利用すればいいか、わからなかった。

質問14. 本大会の規模について（その他）

回答者 番号	その他記述
※	会場次第。神戸は会場が複数あるので不適だと思えます。
※	そもそも大学の数が多すぎる。もちろんしょうがないが、日本で学会開く場合 ヨーロッパ全土の大学の数と日本の大学の数が同じという事実はどう向き合えばよいのか。
※	会場が分散していて移動が大変だった。
※	規模は大きすぎるが、たまには楽しくてよいと思う。
※	毎年やるには、この規模は大きすぎて把握できない部分が大部分を占めることになりそう。
※	大きい分、個人的に興味のある演題が多く非常に充実しましたが、聞きたい演題が同時刻にあり、聞けなくて残念だったというもありました。
※	特に口頭発表の数が多すぎて、会場が細かく分かれすぎておりまた各会場もかなり離れているので、色んな会場に足を運びたいが支障が生じた。今回は天候に恵まれたが、雨が降っていたらより移動が減ってしまうと思う。
※	想像以上に大規模だったが、分子生物の私が、類似のテーマを生化学の側面から研究する内容をじかに聞けて良かったと思う。
※	参加人数に対する部屋に大きさと座席数が全く合っていなかった 聞きたい発表を聞くために部屋を移動する必要があったが、人が溢れかえっており聞くことができなかった。
※	合同大会程の規模で行うには、ポートアイランドの交通アクセスでは少し厳しいのではないかと思います。
※	規模が大きいと普段触れないテーマがあり意義はある。ただ開催方式(会場)は改善が必要。

質問15. 本年の開催形式(合同大会)について (その他)

回答者 番号	その他記述
※	知識や交流を深める意味では良いが、会場に人が入りきれなくなっていたため、不便な点もあった。
※	合同大会をやることは、視野が広がっていいことだと感じた。毎年合同開催となると、少し大きすぎてしんどいかもしれない。
※	今年はやかったが、例年となるとだれてしまうような気がした。合同にすることによって視点が拡がることを是とするならば、お互いの学会が基本的には合同学会を開催するが、2-3年に一度はその時代のトピックとなる他学会と合同開催をして活気を増やし、時には自分の学会だけで(良い意味で見つめあうということ)内向きになることも良いように思う。ある程度気心がわかった合同学会によって、高校生招聘や社会を巻き込むような、アピールイベントも催せることは長年共に歩むことによって可能となる良い面と考える。
※	合同大会は普段聞けない様なテーマに触れることが出来ることがメリット。だが大会が大きすぎて会場探し、移動に時間がかかることがデメリット。合同大会を行うなら会場が分散しない様な規模が大きく移動が最小限になる場所で行う方がよいと思う。

質問16. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか)

回答者 番号	合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか記述
※	農芸化学会
※	薬学会・分子生物学会・生化学会・糖尿病学会
※	細胞生物学会、免疫学会(日本語版?)、臨床分野との開催も面白いと思います。
※	今回薬理学的な演題も見受けられたので、薬理学会とも合同開催が可能なのではないかと感じました。
※	工学部系(ドライな観点)、臨床系(外科学会など生物医学をよりどころとするならばその中で両極にあると思います) 如何にかみ合わなさそうな学会と組むことによってお互いが思わぬ視点を広げられるように思います。

質問16. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	会場が広すぎて、移動が大変である
※	現在の形式と同様で、数年に一回合同が良いのではないか。
※	単独開催しつつ、定期的に合同開催があるとよい。
※	隔年での合同大会が良い
※	定期的に合同学会をするのがいいと思います。
※	合同開催で参加者と演題数が多いため、輸送や会場の確保に無理が出ていたと思う。運営がうまくいけば合同の方がよいが、合同開催が可能なのは横浜くらいではないか。
※	分子生物学と生化学の分野の境目がわかりにくくなっているので、合同でもどちらでもよいと思う。規模や予算の問題による。
※	規模が大きくなるため会場等が整う場合に合同にすればよいと思う。

質問17. 会員懇親会の開催について（その他）

回答者 番号	その他記述
※	以前あった研究者の出会いの場が欲しい



質問18. その他、大会運営全般についてのご意見

回答者番号	意見記述
※	会場が広すぎて、いろいろな話が聞けない。
※	一般口演でも会場が狭かった為、会場前に行列ができていた時もあり、聞きたかった口演が聞けませんでした。
※	名札やランチョンセミナー整理券、プログラム集などが大会よりも早く送っていただけたため、とてもありがたかった。当日、誘導等もしていただき迷うことなく会場移動できた。今回シンポジウムの時間帯が遅く、参加しにくかったので来年以降早めに終えていただけたら幸いです
※	私は一般口頭発表をし、優秀若手発表賞にエントリーしていた。当研究室の教授が私のセッションの座長だったのだが、発表が終わった後に、「発表はとてもよくて優秀発表賞を取れるレベルだったと思うが、座長の研究室の学生が発表賞をとったら周りから見てよくないから、今回は発表賞から外した」と言われた。このように考える当研究室の教授にも問題があると思うが、優秀若手発表賞にエントリーしている学生の研究室の教授を座長にするのは不公平だと思う。ぜひ改善していただきたい。(ちなみに同じセッションのもう一人の座長の研究室の学生は発表賞をとっていた)
※	開始時間を見直すべきだと思う。ただでさえ参加者によって公共交通機関が混雑する上に、朝の通勤・通学ラッシュとかが合って、会場に行くだけで疲労困憊だった。ポスター発表に関して、規定時間までに掲示されていないポスターがいくつか見られたが、何か対策を講じてほしい。例えば、時間内に掲示しなかった発表者は、演題取り消しにするなどの厳しい処置を取るべきである。
※	アプリの改善をお願いします(スマホに慣れてる若い世代にとっては動きがノロすぎて気になります)
※	共催非常に大変だったと思いますが、全般的にはとても良い運営であったと思います。より良くするために色々試すこのような方向性を支持します。
※	ランチョンセミナーの事前予約のWebシステムが始めの段階で正常にはたらいなくて非常に困った。
※	合同大会であり、規模が大きすぎると感じた。ワークショップの会場とポスター展示会場が離れていて不便だと感じた。
※	全体的に満足度の高い大会でした。大規模な大会となり、運営もいっそう困難だったと思われませんが、ありがとうございました。
※	会場のWiFiが繋がりがつかなかった。休憩スペースや充電スペースが充実していたのが良かったので、次回もこの規模でぜひ継続して頂きたいと思いました。
※	ランチョンセミナーの弁当は予め予約をとるのであれば枠を大きくしてもらいたかった。あるいは当日朝、整理券を再度配るなど。当日並んで、目の前で弁当がなくなった。前のセッションを最後まで聞いたらそれ以上早く並ぶのは難しかった。弁当のために前のセッションを抜けているような人もいたがそれは本末転倒かと思えます。
※	整理券を持っていたにもかかわらず、ランチョンのために昼のプログラムを途中で抜ける必要があったのが残念でした。会場が離れており、45ちようどから当日券扱いになってしまうので、、、ランチョン整理券とるのにも二時間近くかかり、当日もなんだか本末転倒のような感じになって残念でした。パスワードなど事前の登録が煩雑で、アプリにも必要なのが使いづらい。合同でかなり規模が大きかったので、聞きたいシンポジウムなどが被りすぎていてやはり小規模の学会の方がゆっくり聞けていいと思います。
※	私にとって非常に爽りある大会となりました。運営、準備に携わった方々に感謝申し上げます。
※	今会場は交通手段が少なくかなりの混雑であった。この点以外は特に不満はなかった。
※	会場内のWi-Fi スポットを増やしてほしい
※	会場が離れすぎていて不便。ランチョンセミナーをもっと増やしてほしい。午後の部は13時開始にして、終了時館をもっと早めてほしい。そのためにも、昼食のために移動しなくてすむよう、ランチョンセミナーで全員お弁当をもらえるようにしてほしい。仕出し弁当でなく、サンドイッチやおむすび弁当などの軽食とドリンクは紙コップで配布するくらいで十分(そのほうが企業側の負担も軽くてすむと思う)。
※	ポスターセッション中から受付の片付けが始まり、セッション終了数分後には出入りが施錠され始めていました。ポスターを回収しに向かったら勝手に撤去されていたとの声も聞きました。実質強制的に追い出された参加者は駅に向かいホームはパンク状態。電車も満員で地元の方々が乗車出来ず、気の毒に感じました。会場と運営側の事情もお察ししますが、もう少し余裕のあるスケジュールを次年度から期待しています。
※	会場までは、ラッシュ時の通勤・通学客とも重なり電車が少しずつ遅延する等の迷惑もかかっていたかと思えます。開始時刻の9時をずらす等の対策が必要であると思います。また、どの発表会場も全体的に椅子が不足していた様子なので、多めに用意するか、パイプ椅子を適宜使用するようになるほうがいいかもしれません。
※	会場の割り振りをもう少しうまくやってほしかった。会場からあふれていて聞けないセッションが複数あったので、難しいとは思いますがマイスケジュールの数などを参考に会場の変更などをして、収まるようにしてほしい。
※	行き帰りともに電車が混んでいたため、三宮-会場間でシャトルバス等が出ていけばよかったです。
※	スタッフの対応、移動中、作業中の言動が良いとは言えなかった(騒がしい、遅い)
※	神戸でやる際は朝と夕方のみバスを運行したらよいかと思えます。
※	一昨年と同様、面白い試みが多かったと思う。学会は保守的であってほしくないもので、昨年よりもよい大会だった。来年以降もこの方向性を継続してほしい。
※	人が多すぎてポर्टライナーの混み具合がひどかった。合同学会のためか人数が多すぎて個人的には好ましくない。ランチョンセミナーの整理券の配布の事前予約も回線の混雑のためかログインできないまますぐに埋まってしまった。参加人数と予約整理券の数がかげ離れている。口頭発表の会場がホテルだったり会議場だったりするのはとても不便だった。
※	ランチョンセミナーの予約を当日の朝にしてほしい。
※	神戸国際会議場は周囲に昼食、休憩の出来るスペースが少ないため、会場の一部にそれらを賄う出店・休憩スペースを設けると良いと思った。

質問18. その他、大会運営全般についてのご意見

回答者 番号	意見記述
※	デザインがいいです。大きな学会だからできることを、やってくださっていると思います。こんなに大人数で、混乱なくできるのがすごいです。講演より、質問しやすいポスター発表の方が好きなので、ポスター発表だけだと安いということに驚きました。企業ブースも好きです。資料をもらうと荷物が重くなってしまっているので、気をつけている。
※	食事する場所をアプリかプログラム集で少し載せておいてもらえるとありがたいかも。
※	テーマが良く似ているセッション(例えばHippoのワークショップと一般口頭のHippoの講演)を開催している場所が遠く、移動に時間がかかり、聴きたい発表に間に合わないことがあった。似ているものに関しては、近くにしてほしい。
※	ランチョンセミナーの当日整理券の配布時間を1日目と2日目で勝手に変更されて困った。両日とも1時間も並んだ。変更するなら掲示やアプリ等で知らせてほしい。
※	同じ分野のセッションがかぶっているのは少し残念でした。コーヒーサービスはありがたかったです。ポスター会場の空調がきになりました。こもっている感じで暑かったです。
※	4日目はポスター発表がなかったので、Wifiが使えず不便でした。Wifi環境をもう少し整えて欲しいです。
※	学会は研究内容に関して、普段接するコミュニティ以外の研究者と議論を交わすことができ、研究を発展させるいい機会だと思う。加えて、研究・雇用環境に関して、普段抱えている問題を共有し、改善の余地を探ることができる場でもあると考える。そのため、そういった内容のシンポジウム等を増やしたほうがよいと思った。
※	情報収集のために発表を聞きに行ったが、大会参加費が高すぎる。交通費などが必要になるにも関わらず、大会参加費6500円は非常に高い。
※	全会場でWifi環境が使えることが望ましい
※	会場が狭く、外まで人が溢れていたため、聞きたい講演を聴くことが出来なかったということが複数回ありました(具体的には第17会場、18会場など)。一般講演の会場でも席数を増やすなどの対応が必要だったと感じます。また、第23、25会場が離れていたため、移動に時間を要しました。今回は生化学会との合同開催ということで非常に多くの分野の研究者の方の講演を聴くことが出来、充実した時間を過ごすことができました。またこのような機会があることを楽しみにしております。ありがとうございました。
※	LBAですが、各ポスターの分野を分けず1ヶ所に集めてしまうのではなく、あらかじめ一般演題のポスターを設置する場所の各分野にLBA用の場所も確保しておく方が望ましいと思います。分野の離れた違う会場にポスターを出しても専門としている人が集まらず議論にはなりません。
※	ポスター発表終了時間後、預けていた荷物を受け取る際に長蛇の列ができていました。受け取りに時間がかからないよう、配慮いただければ幸いです。
※	全体の発表の中で、3日目午前のワークショップ「オモロイ生き物」の内容は非常に興奮しました。もちろんこれまで通りの内容も大事ですが、来年もこのようなワークショップが開かれることを期待しています。
※	ランチョンセミナーの予約のシステムの要改善をお願いします。接続エラーで弾かれ続け、結局予約できず悲しかったです。
※	今大会は合同で規模が大きい上、会場が散在していたため会場移動が大変だった。会場案内の表示が少なく小さかったので一日目は聞きたい演題の会場を探して迷っているうちに目的の演題が終了してしまうことが頻発。会場が散在するなら案内板を増やしたり、遠くから見てもわかるよう大きくする等が必要と感じた。規模が大きい場合もっとまとまって出来る会場で行う方がよい。ITで会場案内を見ても建物案内と会場案内が別なので見難い。建物から建物内にリンクして表示するくらい出来ると思うが。WiFiはもう少し広い範囲で使えたほうがよいと思う。内容的には満足だった。